

授業科目	看護教育論 1	4 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	(山崎公美子) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	今野美紀 (保健医療学研究棟 E112 号) e-mail : miki@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	<p>今日に至る看護専門職としての発展は、看護教育の道程と相補的な関連性がある。つまり、看護教育に関わる諸問題は社会の情勢を受けながらの、過去からの連続である。</p> <p>そこで、本科目では、西欧や我が国の看護教育の歴史を概観し、看護教育における課題を捉えたうえで将来の展望を考えていく。また、自らの看護職生涯教育のあり方について考える。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護教育の意義と役割を説明できる。</li> <li>2. 我が国の看護教育の歴史的変遷とその特徴を説明できる。</li> <li>3. 看護教育制度の現状と課題を述べるができる。</li> <li>4. 看護継続教育を理解したうえで、自己のキャリアマネジメントの必要性について表明する。</li> </ol>		
関連科目	教育学、看護教育論 2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	80%	<p>提出物：講義ごとの課題に応じた提出状況と記述内容により評価する。</p> <p>課題レポート：講義内容を踏まえて、看護教育に関する問題提起と考察の記述内容で評価する。</p>
	課題レポート	20%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①杉森みどり、舟島なをみ [2016] 「看護教育学(第6版)」 医学書院</li> <li>②グレッグ美鈴、池西悦子編著 [2012] 「看護教育学」 南江堂</li> <li>③池西静江、石束佳子 [2015] 「看護教育へようこそ」 医学書院</li> <li>④佐々木秀美 [2005] 「歴史にみるわが国の看護教育—その光と影—」 青山社</li> </ol>		
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進捗状況、学生の興味・関心、疑問等により内容を変更する場合がある。</li> <li>2. 20 分以上の遅刻は欠席となる。</li> <li>3. 課題レポートの詳細は授業最終日に説明する。</li> </ol>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	教育の概念と教育制度 ・教育とは ・我が国の教育制度	事後：学習課題	講義・グループ学習	山崎
2	看護教育の概念 ・看護教育とは ・看護教育と看護学教育	事後：学習課題	〃	〃
3	専門職と看護教育 ・専門職の概念 ・看護の専門職化 ・専門職を育成する看護教育	事後：学習課題	〃	〃
4	看護教育制度の体系 ・看護基礎教育の法的基盤 ・看護基礎教育の制度的特徴	事後：学習課題	〃	〃
5	看護教育制度の歴史的変遷 ・看護教育制度の規定要因	事後：学習課題	〃	〃

6	看護教育課程の特徴 ・指定規則の意義と問題 ・指定規則の変遷と規定要因	事後：学習課題	〃	〃
7	看護教育課程の展望 ・本学の教育課程の特徴 ・看護教育課程の今後	事後：学習課題	〃	〃
8	看護継続教育 ・卒後教育 ・現任教育 ・新人看護職員研修制度	事後：課題レポート	〃	〃